

平成30年度

# 事業報告及び附属明細書



社会福祉法人 米原市社会福祉協議会

# 目次

平成30年度事業の総括	1
1. 第2次まいばら福祉のまちづくり計画の策定	2
2. 地域をつなぐ活動	2～7
(1) ニーズ・社会資源の把握と分析	2
(2) 相談支援	3
(3) 広報・情報発信	3
(4) 福祉活動団体支援	4
(5) 当事者団体活動支援	4
(6) 福祉サービス事業者支援	5
(7) 社会福祉法人のネットワークの構築・地域貢献推進	5
(8) 地域福祉活動拠点の活用	6
(9) 善意銀行	7
(10) 赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金	7
3. 地域の福祉力を高める活動	8～13
(1) 小地域福祉活動（自治会単位）の推進	8
(2) 地域支え合いセンター・生活支援サービス基盤整備事業	9
(3) ボランティアセンター	10
(4) 福祉学習・啓発	11
(5) 福祉介護人材の育成	12
4. 暮らしを支える活動	14～35
(1) 権利擁護	14
(2) 介護保険事業	16
(3) 介護予防事業	23
(3) 障がい者福祉サービス	24
(5) 子育て支援	28
(6) 放課後児童クラブ	28
(7) ファミリー・サポート・センター	30
(8) 生活応援事業（生活困窮者自立支援事業等）	31
(9) 生活福祉資金貸付制度・一時援護資金貸付事業	33
(10) その他の生活支援	34
5. 災害に強いまちづくり活動	36～37
(1) 災害支援体制の構築	36
(2) 災害ボランティアセンターの設置運営	36
(3) 福祉避難所の運営体制整備	37
6. 推進体制の充実・強化	38～41
(1) 評議員会・理事会の運営	38
(2) 情報公開と監査機能の充実	39
(3) 会員・会費制度の普及促進	39
(4) 財政の健全化	40
(5) 各種積立金の適正化	40
(6) 人材育成・活用システムの確立	40
7. その他の活動	42～43

※社会福祉法に規定する事業報告及び事業報告を補足する重要事項である附属明細書を「事業報告及び附属明細書」として一体的に作成しています。

## 平成30年度事業の総括

2025年問題の峠を越えると、その先には、高齢世代と現役世代の数が接近し、世代間の均衡が著しく不均衡になる「2040年問題」が待ち構えており、社会全体で暮らしを支える力が弱体化し、高齢化・困窮化・孤立化などの状況が顕著化することが懸念されます。

本市においても例外ではなく、人口の減少と単身世帯の増加、若年層の流出がさらに進み、各世帯の対応力や自治機能の低下、地域のつながりの希薄化の進展に伴い、地域の福祉課題はますます深刻・複雑化することが予想されます。

このような中、平成30年度末に、市民や関係機関、団体、事業者等に参画いただき、市とともに「第2次まいばら福祉のまちづくり計画」を策定し、この中で、2019年度からの5年間を見据えた地域福祉推進の方向として、地域共生社会の実現に向けた取り組みの深化を目指し、各主体の役割と連携・協働のあり方について示しました。

本会においては、平成30年度から5年間を推進期間とする「事業推進方針」に基づく取り組みを進める中で、「我が事・丸ごと」の地域づくりの実現を目指し、まず、つながりを広げ深めるネットワーク活動の強化（推進方針1）に取り組みました。地域や主体、活動分野、機関等の枠組みを超えたつながりづくりを目的とした様々な協議・検討の場を設けるとともに、各種研修や交流会を通じて、地域間や他分野がつながり協働する活動のほか、市民による協議体の立ち上げや広域組織の必要性について意識醸成を図りました。

併せて、地域で暮らす人々の生活を支えるための福祉サービスの供給状況を踏まえ、充足されないニーズや制度の狭間にあるニーズに対する事業・サービスの実施（推進方針2）に取り組み、身近な地域の福祉拠点づくりとして各事業所における相談機能を強化するほか、特に、障がい児者の地域生活支援に向け、新たに自立生活援助事業や日中一時支援事業を開始しました。また、多様な生活課題について検討するため、法人内に部署横断的な取り組みを実践するプロジェクトを立ち上げ、食の確保を通じた生活支援や障がい者の生活応援事業について企画し実施しました。さらに、ニーズに応えるためのサービス開発には、介護保険事業等を軸に経営基盤を強化し収益を確保する必要があり、各事業において専門性の高度化と加算体制の整備など、サービス提供体制の充実を図りましたが、従前からの課題であります介護人材の確保を含め、ニーズを踏まえた事業規模と今後の展開方法については、引き続き検討する必要があります。

これらの事業や活動を展開する上で、人材育成のためのプログラムの充実や適正な評価に基づく処遇の実施など、職員ひとり一人がその能力を最大限発揮できる魅力ある職場づくり（推進方針3）が求められ、平成30年度においては、人事制度を見直す中で新たに職務能力の評価基準となる職能基準を定めたほか、働き方改革への対応や短時間労働・再雇用制度の整備に取り組みました。

次年度に向けて、平成30年度事業の評価を踏まえ、地域を基盤とした課題解決力の強化を目指し、様々な主体や活動がつながり協働する仕組みづくりを一層推進していきます。

# 1. 第2次まいばら福祉のまちづくり計画の策定

目 標	多様化する福祉課題の解決に向けて、米原市に関わる全ての主体が一体となって支え合い、安心して元気に暮らしていくための指針となる第2次米原市地域福祉計画・第3次米原市地域福祉活動計画を策定します。(策定期間：平成29年度・30年度)
事 業 実 績	策定：平成31年3月 計画期間：令和元年度（2019年度）から令和5年度（2023年度）5年間 基本理念：『自分らしく 心豊かに 安心して暮らせるまち まいばら』 ○推進会議への出席：4回 ○担当課・業者等との事前打ち合わせの実施：5回 ○ワーキングチーム会議への出席：2回 ○福祉座談会（策定報告会含む）の開催：4地域 全12回 ○パブリックコメントの実施：1回

## 2. 地域をつなぐ活動

### (1) ニーズ・社会資源の把握と分析

目 標	<p>小地域福祉活動やボランティア活動の支援、相談事業や福祉サービス等を実施する中で、地域の課題や暮らしの困りごと、地域の社会資源の把握を行うとともに、必要に応じ調査を行います。</p> <p>また、分析・整理した暮らしの困りごとや把握した地域の社会資源を地域カルテにまとめ、自治会や関係機関、活動者等と共有できる仕組みをつくります。</p>	
	事業名	内 容
事 業 計 画	地域カルテの作成	○各種会議等におけるニーズ、社会資源の把握 ・住民参加の協議や情報交換の場での把握 ○訪問・地域行事への参加等によるニーズ、社会資源の把握 ○本会内部情報の集約（コミュニティソーシャルワーカー・相談支援包括化推進事業担当・各事業所の連携・共同での作成） ○地域・事業者等との情報共有方法の確立
事 業 実 績	○社会資源の把握 コミュニティソーシャルワーカーの活動により把握した内容を地域カルテに更新した。 ○地域カルテの整理と活用を協議 市地域協働課と協議	

## (2) 相談支援

目 標	<p>支援を必要とする人からの暮らしの困りごとに対応します。また、制度の間で暮らしづらさを抱える人への寄り添い型の相談支援活動をすすめるとともに、地域やボランティア、サービス事業者などの福祉活動者への相談支援を行い、関係者の連携を進めます。</p> <p>また、単独の相談機関では対応しづらい福祉ニーズに対して、多機関多分野の相談機関が連携し、相談支援できる体制を構築します。</p>			
	事業名	内 容		
事業計画	相談支援窓口	<ul style="list-style-type: none"> <li>○コミュニティソーシャルワーカーの配置</li> <li>○専門窓口（顧問弁護士）の設置と活用</li> </ul>		
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○支援活動記録の様式見直しと合わせ、担当者ミーティングにおいてコミュニティソーシャルワーカー同士の活動状況の報告、共有を行った。</li> <li>○個別の生活課題に対しては、内容に応じ専門機関と連携し対応または情報共有に努めた。 (単位：件)</li> </ul>			
	相談内容	暮らしの困りごとに関する個別相談	地域福祉活動者からの相談	合計
	件 数	328	1,905	2,233
	前年度	775	1,192	1,967
	事業名	内 容		
事業計画	相談支援包括化推進事業(市委託事業)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○相談機関連絡会議の開催</li> <li>○事例検討会(学習会)の開催</li> <li>○複合的な課題を抱えたケースへの相談支援(ケース会議)</li> <li>○地域カルテの作成</li> </ul>		
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○相談支援包括化推進会議                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・代表者会議：3回</li> <li>・包括化コアメンバー会議：2回</li> <li>・包括化ケース会議：12回</li> </ul> </li> <li>○事例検討会                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会での事例検討会：3回</li> <li>・ケアマネジャーとの事例検討会：7回</li> <li>・コミュニティソーシャルワーカーとの事例検討会：5回</li> </ul> </li> <li>○「つなぐシート」の作成、活用</li> <li>・相談支援担当者連絡会議：6回</li> <li>・ケース共有会議：10回</li> </ul>			

## (3) 広報・情報発信

目 標	<p>小地域福祉活動やボランティア活動、市内の福祉事業者の取り組みなど、市内の様々な福祉活動についての情報を多様なメディアを通じて市民に届け、福祉理解や福祉活動への参加意識を高めます。</p>			
	事業名	内 容		
事業計画	広報・情報発信活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○社協広報誌「てとて」の発行（年4回）</li> <li>○ホームページやフェイスブックをはじめとしたSNSの充実、多様なメディアの積極的な活用</li> <li>○社会福祉大会や福祉懇談会、各種講座での情報発信</li> </ul>		



事業名		内 容
事業計画	活動支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○連絡会・懇談会の開催（情報交換、ニーズ把握等）</li> <li>○地域福祉活動への参画に係る福祉学習会の開催</li> <li>○団体活動についての相談支援</li> <li>○団体活動計画の策定支援</li> <li>○新規事業立ち上げの働きかけ （当事者による対外的な情報発信・周知啓発活動等）</li> <li>○新たな支え合い活動や福祉サービス開発のための協議の場への参画 呼びかけ（福祉避難所の運営等）</li> <li>○補助金の交付による活動支援</li> </ul>
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○当事者団体長懇談会：（7/26日）6団体の会長が参加</li> <li>○各種団体からの相談対応</li> <li>○補助金の交付：6団体 380,000円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・米原市手をつなぐ育成会</li> <li>・米原市障害者福祉協会</li> <li>・米原市母子福祉のぞみ会</li> <li>・米原市精神障がい者家族会（あざみの会）</li> <li>・米原市視覚障害者福祉協会</li> <li>・NPO法人発達障がいサポートネットでこぼこフレンズ</li> </ul> </li> </ul>	

## （6）福祉サービス事業者支援

目 標	市内の福祉・介護サービス事業者に対し、人材育成や研修、情報提供等の支援を行い、地域活動と事業者をつなげるコーディネートを行います。	
事業名		内 容
事業計画	福祉事業者への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○多職種連携の会の運営支援・事務局担当</li> <li>○実践報告会、合同研修会の開催</li> <li>○社協広報誌を活用した情報提供・PR活動</li> <li>○専門職による地域出前講座の開催</li> <li>○福祉人材の育成・確保についての協働</li> </ul>
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○職員研修の公開：本会以外の事業所からの参加 <ul style="list-style-type: none"> <li>・接遇研修（7/26）：5事業所 14人</li> <li>・障がい研修「家族から学ぶ、障がい者支援」：4事業所 12人</li> <li>・普通救命講習（10/10・10/12・10/15）：5事業所 9人</li> <li>・健康づくり講習会「ヨガ体験」（3/12）：5事業所 9人</li> </ul> </li> <li>○福祉人材の確保等について、社会福祉法人協議会（仮称）の設置に向けた意見交換会にて各法人と意見交換を実施</li> </ul>	

## （7）社会福祉法人のネットワークの構築・地域貢献推進

目 標	社会福祉法人が創意工夫し、多様な「地域における公益的な取り組み」が展開されるよう、地域の課題の共有や取り組みの協働化、地域と法人をつなぐ支援を行います。
-----	--

	事業名	内 容
事業計画	<b>【重】</b> 社会福祉法人協議会（仮称）の設置・運営	○社会的動向やテーマ別の課題に対する取り組みの共有と検討（福祉人材の育成・確保、災害対策、福祉学習・啓発、介護保険制度・生活困窮者自立支援制度への対応、社会福祉法人としての社会貢献活動等） ・合同研修会、情報交換会（情報提供、意見交換等）の開催
事業実績		○市内社会福祉法人による情報意見交換会（12/12）：7法人 17人（本会を含む） ・第2次まいばら福祉のまちづくり計画よりニーズの共有 ・地域における公益的な取り組み ・法人運営における課題の共有 等

### （8）地域福祉活動拠点の活用

目 標	<p>周辺地域及び関係機関との連携・協働の中で市民の福祉拠点となる施設を運営します。地域福祉活動の拠点として小地域福祉活動やボランティア活動の支援、相談支援を行うとともに、介護保険サービスや介護予防事業、障がい福祉サービスを実施し、市民の福祉ニーズに応える施設運営を行います。</p>	
	事業名	内 容
事業計画	活動拠点の管理運営	<p>○福祉施設の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あったかほーむかせの</li> <li>・ほおずき作業所</li> <li>・寄ろ家うかの</li> <li>・行こ家のとせ</li> <li>・いをぎの家</li> <li>・いきいき健康館</li> <li>・米原市指定管理施設の運営（柏原福祉交流センター・北部デイサービスセンター・伊吹健康プラザ愛らんど・米原地域福祉センターゆめホール・西部デイサービスセンター・近江地域福祉センターやすらぎハウス）</li> </ul> <p>○運営推進会議：各施設にて開催</p> <p>○地域交流事業：各施設にて地域と協働して実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・やすらぎハウスきずなフェスティバル（年1回）</li> <li>・ゆめホールふれあい事業（年1回）</li> <li>・きらめき交流まつり（11月）</li> <li>・愛らんどいきいき健康クッキング（年2回）</li> <li>・デイサービスセンターでの季節の祭り、保育所や小中学校等との交流</li> <li>・はびろ茶屋</li> <li>・子育て交流事業</li> <li>・近隣自治会等の活動への参加</li> <li>・息吹の奏（近隣施設等との共催）</li> </ul>
事業実績		<p>○施設運営推進会議 開催：11施設 延べ28回</p> <p>○地域交流事業：9施設 ※詳細は、各事業所に記載</p> <p>（抜粋）地域福祉センター実施分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆめほーる：てんてんフェスティバル（12/22）参加者：300人</li> <li>・愛らんど：いきいき健康クッキング 参加者：3人</li> <li>・やすらぎハウス：きずなフェスティバル（10/28）参加者：500人</li> </ul> <p>※その他、各事業所の報告に記載</p>



## (9) 善意銀行

<b>目 標</b>	地域の市民や企業・団体から寄せられる善意を、市内で地域福祉推進に取り組む自治会や関係団体の活動を支えるための資金や、市民の暮らしの困りごとを支える財源として有効活用します。	
	事業名	内 容
<b>事業 計画</b>	善意銀行 の運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>○善意銀行の募集啓発および情報提供</li> <li>○寄付者の意向に基づく効果的な活用             <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活困窮者支援物資提供事業</li> <li>・当事者団体支援事業（助成金）</li> </ul> </li> </ul>
<b>事業 実績</b>	<p>【預託】金銭預託 27件 1,056,438円 物品預託 122件</p> <p>【払出】合計：302,286円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活困窮者支援物資提供事業：30,286円</li> <li>・指定寄付先への贈呈：142,000円</li> <li>・米原市竜巻災害被災自治会への見舞金：130,000円</li> </ul>	

## (10) 赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金

<b>目 標</b>	地域福祉の課題解決に取り組む、民間団体を支援する仕組みとして、また、市民のやさしさや思いやりを届ける運動「じぶんの町を良くするしくみ」を進めます。	
	事業名	内 容
<b>事業 計画</b>	共同募金委員会 の運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>○募金活動の強化             <ul style="list-style-type: none"> <li>・受配団体等と協働した募金活動の実施</li> <li>・社会貢献活動への参加の呼びかけと募金活動の啓発と強化</li> </ul> </li> <li>○募金の配分             <ul style="list-style-type: none"> <li>・透明性の確保と啓発の強化</li> <li>・様々な地域福祉活動への幅広い配分</li> </ul> </li> </ul>
<b>事業 実績</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○募金・啓発活動             <ul style="list-style-type: none"> <li>・共同募金支援型自動販売機 設置数：5台</li> <li>・社会福祉大会、滋賀銀行4店舗での「ぬり絵」の展示、啓発活動の実施</li> <li>・受配団体、社会福祉法人事業所の協力のもと各種イベント募金等の実施</li> </ul> </li> <li>【募金額】赤い羽根共同募金：6,961,201円 歳末たすけあい募金：3,733,835円</li> <li>○募金の配分             <ul style="list-style-type: none"> <li>・赤い羽根共同募金：米原市社会福祉協議会地域福祉推進事業：3,980,594円 県内福祉施設整備・災害支援費用：2,480,607円 次年度募金活動費：500,000円</li> <li>・歳末たすけあい募金の配分：要援護世帯等向け歳末配分事業：1,032件 3,096,000円 当事者団体補助金：6件 120,000円 地域福祉推進事業：2件 517,835円</li> </ul> </li> <li>○災害見舞金の支給：被災世帯6件</li> </ul>	

### 3. 地域の福祉力を高める活動

#### (1) 小地域福祉活動（自治会単位）の推進

目 標	<p>地域住民が地域の困りごとに気づき、支援を必要とする人への見守り活動や生活支援の取り組みを推進します。</p> <p>○自治会における推進組織や小地域福祉活動におけるリーダーの役割を整理し提案します。</p> <p>○市民が主体的に見守り・支え合い活動を進める上での機運を高めるとともに、組織化や活動を支援します。</p>	
	事業名	内 容
事業 計画	小地域福祉活動 の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自治会長・民生委員・福祉委員等合同説明会</li> <li>○ご近助活動スキルアップ講座</li> <li>○見守りネットワーク会議【重】</li> <li>○男性のためのいきいき料理教室</li> <li>○防災力向上のための取り組み</li> <li>○備品・車両の貸し出し</li> <li>○活動への相談支援と情報提供（一円玉を大切にする運動など活動資金確保を含む）</li> <li>○自治会ごとの担当職員の配置</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域福祉懇談会</li> <li>○火災警報器設置・点検事業</li> <li>○防火訪問</li> <li>○福祉マップの作成、更新支援</li> <li>○補助金の交付</li> </ul>
事業 実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自治会長・民生委員・福祉委員等合同説明会 参加者：合計 305 人 <ul style="list-style-type: none"> <li>・山東地域（4/26）参加者：93 人</li> <li>・伊吹地域（4/25）参加者：64 人</li> <li>・米原地域（4/24）参加者：62 人</li> <li>・近江地域（4/23）参加者：86 人</li> </ul> </li> <li>○ご近助活動スキルアップ講座 参加者：合計 148 人 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ご近助活動コーディネートのコツ（5/19）参加者：38 人</li> <li>・見守りネットワーク会議の開き方（6/2）参加者：55 人</li> <li>・災害時避難支援体制づくりのススメ（6/16）参加者：55 人</li> </ul> </li> <li>○地域福祉懇談会 開催地域：70 自治会 延べ75回 参加者：956 人</li> <li>○見守りネットワーク会議 開催数：57 自治会 延べ321 回（内、コミュニティソーシャルワーカーの参加：78 回）</li> <li>○火災警報器設置・点検事業 配布数：28 自治会 183 個</li> <li>○防火訪問 市内福祉事業者・民生委員の協力を得て実施したが、実績なし</li> <li>○男性のためのいきいき料理教室 実施地域：延べ6地域 参加者：延べ83 人</li> <li>○福祉マップ作成・更新支援 作成：8 自治会 更新：1 自治会</li> <li>○備品・車両 備品貸出総数：496 件</li> <li>○補助金の交付 78 自治会へ補助 補助金総額：2,575,500 円 新規事業 2 団体 補助金総額：22,500 円</li> <li>○自治会ごとの担当職員の配置 各自治会に配置</li> </ul>	

## (2) 地域支え合いセンター・生活支援サービス基盤整備事業

目 標	自治会の範囲を超えて地域課題を共有し、解決に取り組む組織づくりについての協議の場をつくります。また、地域やサービス事業者などが協働し、生活支援サービスの充実や認知症高齢者の見守り活動、地域から孤立をなくすための取り組みを推進します。	
	事業名	内 容
事業計画	地域支え合いセンター事業 ・ 生活支援サービス基盤整備事業 (市委託事業)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市全域の協議体（まるごと交流会）の運営               <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域や生活上の課題に対し、ボランティア活動者、市民、各種関係機関、事業者等が協議・検討する場の運営（資源・サービス開発、支援ネットワークづくり）</li> </ul> </li> <li>○自治会単位では解決・対応が困難な課題に対する広域的な連携・協議体についての検討               <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係者（自治会、福祉関係者、各種団体、企業、農林水産事業者、NPO、行政等）による広域の地域福祉推進組織設置に向けた協議【重】</li> </ul> </li> <li>○支援ニーズの集約と活動・サービス等に関する情報の発信（情報収集・発信）               <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域カルテの整備</li> <li>・ウェブサイトの整備と運用、内容の充実</li> </ul> </li> <li>○生活支援活動などに取り組む団体等の活動支援               <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談支援・活動調整</li> <li>・研修会、情報交換会の開催</li> </ul> </li> <li>○買い物支援や移動支援など地域のニーズに合わせた広域の生活支援サービスの開発【重】</li> </ul>
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○移動販売の調整               <ul style="list-style-type: none"> <li>・移動販売登録事業者数：12 事業者</li> <li>・移動販売開催回数：延べ 441 回</li> <li>・周知用資材作成補助：3 地域</li> <li>・移動販売受け入れ地域：16 ヶ所</li> <li>・移動販売受け入れ施設：2 施設</li> </ul> </li> <li>○協議体の運営               <ul style="list-style-type: none"> <li>・まいばらまるごと交流会の開催：2 回 参加者：延べ 85 人</li> <li>・第2層協議体の開催：4 回 参加者：延べ 88 人</li> </ul> </li> <li>○支え合いセンター事業の情報発信               <ul style="list-style-type: none"> <li>・facebook・ブログ等：9 件</li> <li>・ホームページの更新：2 回</li> </ul> </li> <li>○お茶の間団体の研修調整：28 件</li> <li>○市内小売商店への聞き取り：8 店舗</li> <li>○スゴワザ講座の実施：5 回 参加者：延べ 70 人</li> <li>○お茶の間団体情報交換会：3 回 参加者：延べ 90 人</li> <li>○お茶の間団体役員会等への出席：9 回</li> <li>○市担当課との連絡会議の開催：12 回</li> <li>○相談等活動援助件数：718 件</li> </ul>	

### (3) ボランティアセンター

目 標	支援を必要とする人や地域、サービス事業所などからの声をもとに、ボランティアによる支援ニーズを把握し、必要な事業の企画とボランティアの養成を行うなど、ボランティア活動の推進と活動に関する調整を行います。	
	事業名	内 容
事業計画	情報提供 ・活動調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ボランティア活動者の発掘と育成</li> <li>○ボランティア情報の整理と充実</li> <li>○企業、団体、福祉施設に対する啓発強化</li> <li>○テーマ、対象に応じた事業企画             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア登録一覧表の更新、配布</li> <li>・ホームページ、SNSを活用したタイムリーな情報発信</li> <li>・サテライト（掲示板等）の活用</li> </ul> </li> <li>○ボランティア活動者・活動の機会に関する情報収集</li> <li>○ボランティア活動のマッチング</li> <li>○市ボランティア連協の運営支援</li> <li>○レイカディア大学、ルッチ大学との連携体制づくり</li> </ul>
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ボランティア登録者 合計：1,767人（団体：1,708人・個人：59人）</li> <li>○ボランティア活動に関する相談：958件</li> <li>○活動調整件数             <ul style="list-style-type: none"> <li>・芸能ボランティアグループの活動調整：64件</li> <li>・個別支援に対するボランティアマッチング：3件</li> </ul> </li> <li>○新規ボランティア登録 団体：2件 個人：4件</li> </ul>	
	事業名	内 容
事業計画	傾聴ボランティア の養成・活動支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○養成講座の開催             <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談や話しかけに必要な技術の習得</li> <li>・地域のニーズや状況、社会資源（相談窓口やサービス等）に対する理解</li> <li>・個人情報への取り扱いに対する理解</li> </ul> </li> <li>○傾聴ボランティアの活動支援             <ul style="list-style-type: none"> <li>・組織化に向けた運営支援（班体制への組織化）</li> <li>・活動調整（施設、個人）の運営支援</li> <li>・相談機関、関係機関との連携</li> <li>・スキルアップ研修会の開催</li> </ul> </li> </ul>
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○養成講座の開催 講座（4回）・ボランティア体験 参加者：16人（ボランティア体験参加者7人） *修了者2人が傾聴ボランティアグループ「よろこび愛」に加入</li> <li>○傾聴ボランティア活動の支援             <ul style="list-style-type: none"> <li>・定例会への参加：12回                      ・初回訪問への同行：6件</li> <li>・活動調整：144件（市内施設での活動：6か所 個人宅での活動：9か所）</li> </ul> </li> </ul>	

事業名		内 容
事業計画	音訳事業 (市委託事業)	○音訳ボランティア養成講座の開催（初級者編、経験者編） ○音の広報発行事業 ・市広報や議会だより、社協広報等の録音と発行 ・活動者への支援
事業実績		○音訳ボランティア養成講座《初級者編》（全7回）受講者：5人 音訳ボランティア養成講座《経験者編》（全10回）受講者：11人 ○音訳ボランティアマニュアル検討会（6/4）参加者：15人 ○音訳ボランティア意見交換会（3/4）参加者：12人 ○音の広報発行事業 利用者：2人 ・市広報：12回 ・議会だより：4回 ・社協広報：4回

#### (4) 福祉学習・啓発

目 標	人権の尊重や支え合い活動の必要性を啓発し、地域共生社会の実現に向けた機運づくりや取り組みを推進します。	
事業名		内 容
事業計画	社会福祉大会	○社会福祉功労者表彰 ○支え合い活動表彰 ○市民や団体、事業所などによる地域福祉活動の発表や啓発 ○基調講演：福祉のまちづくり計画の進捗状況や概要について ○福祉のまちづくり計画策定委員会を中心とした分科会の企画、実施 ○ロビー展（ボランティア活動者・福祉事業所等の活動紹介） ○共同募金の啓発
事業実績		○市担当課との内部協議：2回 ○講師との打ち合わせ会議：1回 ○第13回米原市社会福祉大会の実施（12/2）参加者：618人 ・記念式典 ・パネルディスカッション：竜巻災害からこれからの福祉のまちづくりを考える ・中間報告：第2次まいばら福祉のまちづくり計画 ・分科会：①認知症でも笑顔のまま （企画）ほっとネットまいばら（協力）MTR40 米原多職種連携の会 ②いのちの作法 『～沢内「生命行政」を継ぐ者たち～』 （企画）米原市民生委員児童委員協議会連合会 ③みんなで考えようこころの健康 ～理解し合い、支え合えるまちを目指して （企画）米原市健康づくり課 ④人と人とのつながり実感！！～手話を覚えてみませんか （企画）米原市聴覚障害者協会 ・展示ブース：福祉サービス事業所・福祉活動団体の紹介、防災食の試食、避難所体験

事業名		内 容
事業計画	福祉学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>○福祉学習連絡会議の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校・関係機関・福祉活動団体・福祉事業者等の参画を得る</li> <li>・情報交換と取り組みの検討</li> <li>・福祉学習プログラムの提案・見直し</li> </ul> </li> <li>○各学校での福祉学習会の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・当事者・活動団体、福祉事業所の参画を得て実施</li> <li>・地域の見守り、支え合い活動への参加</li> </ul> </li> <li>○福祉体験学習の受け入れ <ul style="list-style-type: none"> <li>・本会各福祉拠点を活用した受け入れ</li> <li>・市内福祉事業者による福祉体験の受け入れのための調整</li> </ul> </li> <li>○出前講座 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域や企業への開催の働きかけと実施</li> </ul> </li> </ul>
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○福祉学習会開催小・中学校数：10校 実施回数：18回 学校との連絡調整 70回以上</li> <li>○出前講座：実施回数 82回、受講者：2,737人</li> </ul>	
事業名		内 容
事業計画	平和祈念式典	<ul style="list-style-type: none"> <li>○米原市・遺族会との合同事業 住民参加による運営体制のもと、米原市が非核・平和都市宣言のまちであることを啓発する式典を開催する。</li> </ul>
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>遺族会および米原市との3者共催にて開催 会場：米原公民館 (8/4) 参加者：約300人</li> </ul>	

### (5) 福祉介護人材の育成

目 標	地域の支え合いや生活支援サービスの担い手の育成をめざすとともに、質の高い介護人材が、市内の事業所に安定的に確保されるよう、社会福祉法人や介護事業所等と協働して、福祉・介護人材の育成に取り組みます。	
事業名		内 容
事業計画	認知症サポーターの養成 (市委託事業)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○認知症サポーター養成講座の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校(児童、生徒)向け講座の企画、実施</li> <li>・企業向け講座の企画、実施(対応方法のロールプレイ)</li> <li>・市内の福祉事業所と連携した取り組みの実施</li> </ul> </li> </ul>
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○サポーター養成講座・認知症予防講座：21回 受講者：583人</li> <li>○キャラバンメイト定例会：12回(毎月開催)参加者：キャラバンメイト延べ164人</li> <li>○フォローアップ研修：5回(参加者：延べ66人)</li> </ul>	

事業名		内 容
事業計画	福祉現場での 実習受け入れ	○福祉専門職養成のための実習受け入れ ・実習の調整（市内各福祉現場）
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員免許取得に伴う介護等体験 大谷大学、京都女子大学、滋賀大学、滋賀県立大学、同志社大学、日本福祉大学、龍谷大学</li> <li>・保育実習Ⅰ（施設実習）：滋賀文教短期大学</li> <li>・社会福祉現場実習：河瀬高校、彦根総合高校：2人、日本福祉大学：2人</li> <li>・介護職員初任者研修施設実習：18人</li> <li>・教職員課程実習</li> <li>・視察受入：大阪府池田市社会福祉法人のぞみ：3人</li> </ul>	
事業名		内 容
事業計画	介護職員 初任者研修	○地域の福祉力の向上と、介護人材の確保と専門性の向上を目的に市内の介護事業所等と協働して研修会を開催する。
事業実績	<p>開催：7/6～11/30 市内事業所から講師の派遣協力のもと、開催した。 受講者：18人 *長浜市社会福祉協議会主催の外国人向け初任者研修に講師協力</p>	
事業名		内 容
事業計画	介護職員初任者研修 修了者フォローアップ	○前年度までに介護職員初任者研修を修了した方に対して、介護技術等フォローアップ研修を行う。
事業実績	家族から学ぶ障がい者支援についての講座（6/20）参加者：2人	
事業名		内 容
事業計画	障がい児者支援 サポーター育成講座	<p>○育成講座の開催 障がい児者の特性や関わり方について理解を深め、障がい児者支援に携わる人材を育成する。</p> <p>○ボランティア登録、活動調整 講座終了後、ボランティア登録を経て、各活動団体・事業所からの依頼に応じマッチングを行う。</p>
事業実績	<p>○育成講座の開催 講義：7/14      演習：2回      受講者：13人</p> <p>○ボランティア登録、活動調整 ボランティア登録：6名</p>	

## 4. 暮らしを支える活動

### (1) 権利擁護

<p>目 標</p>	<p>認知症や知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が十分でない方などへの支援を行い、地域で安心してその人らしく生活できるよう支援します。</p> <p>また、行政や関係機関、事業所などと連携して多様な権利擁護ニーズへの取り組みを進めます。</p>	
	<p>事業名</p> <p>権利擁護センター (一部市委託事業)</p>	<p>内 容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○成年後見制度・虐待等の相談窓口 成年後見制度や虐待のほか権利擁護全般に関するあらゆる相談に応じる。 ・なんでも相談会の開催</li> <li>○成年後見申立支援 親族等の申し立て支援等を行い、制度の利用促進を図る。</li> <li>○権利擁護に関する普及・啓発 市民ならびに事業所・関係機関等に権利擁護に関する制度の普及・啓発活動を行う。</li> <li>○後見人等支援 親族後見人のほか、第三者後見人が、適切な後見活動ができるよう相談支援や研修の場の提供を行う。</li> <li>○関係機関のネットワーク構築 権利擁護に関する取り組みの普及や連携・調整を行う。</li> <li>○意思表示のための「暮らし方ノート」の普及・啓発</li> <li>○地域福祉権利擁護事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・暮らし全体のアセスメントと定期的なモニタリング・支援計画の見直しを行い、生活目標（支援目標）を共有したうえで認知症や障がいのある人への相談・生活支援を行う。</li> <li>・福祉サービスの利用援助</li> <li>・日常の金銭管理</li> <li>・書類等の預かり</li> </ul> </li> <li>○法人後見事業 地域福祉権利擁護事業からの移行や随時対応が必要な人のほか、適切な後見人が見つからない場合などを対象に後見等を受任する。</li> </ul>
<p>事業実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○権利擁護センター運営委員会（8/8・3/28）</li> <li>○成年後見サポート・啓発等業務 <ul style="list-style-type: none"> <li>・成年後見制度申立ての相談・支援：8件</li> <li>・県権利擁護センターネットワーク会議（連絡会）12/11</li> <li>・成年後見人のための情報交換会（長浜市社協と共催）3/19</li> <li>・他県視察研修受け入れ3/8</li> <li>・民生委員への普及啓発（9/11 伊吹民協・11/13 近江民協・1/10 米原民協）</li> </ul> </li> </ul>	



事業実績	<p>○なんでも相談会          ・9/22 相談9件    ・3/21 相談20件</p> <p>○暮らし方ノートの普及・啓発          ・各地区老クにて説明          ・サロンや老人クラブへの出前講座（5回参加者：204人）          ・希望者へのノート配布</p> <p>○地域福祉権利擁護事業          ・契約件数：100件    相談支援回数：8,730回    （新規契約12件、終了8件）          ・モニタリング、支援計画書の作成、見直し</p> <p>○法人後見事業          ・受任件数：10件（※新規受任：1件）          ・法人後見監査（11/20・3/22）</p>							
	地域福祉権利擁護事業	実績（件）	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計	前年度
		相談支援回数	2,525	3,897	2,089	219	8,730	8,406
		新規契約件数	4	1	4	3	12	20
		終了件数	5	2	1	0	8	18
3月末契約件数		29	45	21	5	100	96	
法人後見事業	実績（件）	後見	補佐	補助	合計	前年度		
	新規件数	1	0	0	1	2		
	修了件数	0	0	0	0	0		
	後見等受任件数 （平成31年3月末現在）	4	5	1	10	9		
	相談・支援回数	228	797	468	1,493	935		

## (2) 介護保険事業

目 標	<p>利用者が自らもつ能力を最大限に生かし、住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、介護や医療、看護、リハビリテーション、さらに在宅生活を前提とした様々な生活支援と連携しながら、ひとり一人の心身機能の状態や生活環境に応じた専門的なケアを提供します。</p> <p>また、利用者やその世帯が抱える生活課題にも着目し、各事業所が身近な相談窓口として気軽に相談できる関係づくりを進めるとともに、関連する機関と連携して課題の解決にあたります。</p> <p>さらに、充足されないニーズや制度の狭間にあるニーズに対応するため、サービス提供体制の整備と強化を進め、支援内容の充実を図るとともに、ニーズに応じた新たなサービスの開発に取り組みます。</p>	
事業 計画	事業名	内 容
	通所介護事業	<p>○送迎、健康チェック、入浴及び食事、機能訓練、レクリエーション等のサービスを提供するとともに、生活相談や助言を行う。</p> <p>○要支援者等に生活機能向上のための機能訓練を行い、状態の維持・改善を図るとともに、個々の状態を踏まえながら、多様なサービスの利用を促進していく。(※総合事業通所介護)</p> <p>○心身機能訓練等による生活機能の維持向上、認知症高齢者や重度の要介護者に対する対応力の強化、予防の視点による社会参加の促進など、「自立支援」に視点を置きながら、利用者が望む生活や自身の力をいかした介護の提供に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リハビリ職との連携による個別プログラムの作成と実施</li> </ul> <p>○身近な地域の福祉拠点として、相談機能の強化に取り組むとともに、介護予防の視点による場づくりを進める【重】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談（介護／認知症）窓口の運営、地域への出張相談（出張カフェの開催など）の実施</li> <li>・家族介護者支援事業の実施</li> <li>・事業所を活用した場づくり（居場所／通い／活躍）と地域活動と連携する生活支援活動の実施</li> </ul> <p>○サービス提供体制（事業規模、人材確保、加算体制など）の整備とサービスの展開強化（機能の特化、機能の多機能化・複合化、専門性の高度化など）に関する検討を行い、支援ニーズに応じたサービス提供に取り組む。</p>





【東部デイサービスセンターはびろ】

■定員：10人                      ■稼働日数：307日                      ■実利用者数：37人  
 ■延べ利用者数：2,258人      ■一日平均利用者数：7.3人      ■平均介護度：1.7

○米原市リハビリ支援事業への参加

・個別リハビリの実施（理学療法士の指導）：16回

○地域交流事業

・はびろ茶屋（5/31、8/30、11/29、1/31）参加者：延べ110人

・出前講座：2回（柏原サロン、清滝サロン）      ・ボランティア交流会（12/15、19）

・柏原小学校4年生との交流：1回                      ・柏原保育園児との交流：2回

・家族介護者のつどい（5/26）参加者：4人      ・ケアマネ見学会（10/17、11/15）参加者：4人

・認知症カフェ：2回 参加者：5人      ・ちょっと相談所（毎月第2・4土曜日）相談件数：3件

○世代間交流事業：子育て支援「かしはら、いっぱい」：3回

・流しそうめん（7/14）参加者：4組12人      ・芋のお菓子作り（10/16）参加者：3組6人

・クリスマスリース（12/3）参加者：2組5人

○福祉教育人材育成

・伊吹山中学校福祉体験      ・柏原中学校福祉体験      ・米原中学校福祉体験

○運営推進会議：2回

○消防訓練：2回

実績(人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ利用者数	175	156	172	171	183	173	215	198	194	187	211	223	2,258
前年度	171	179	208	198	207	221	223	190	175	164	162	174	2,272

【デイサービスセンター寄ろ家うかの】

■定員：10人                      ■稼働日数：307日                      ■実利用者数：21人  
 ■延べ利用者数：2,177人      ■一日平均利用者数：7.1人      ■平均介護度：2.6

○家族支援事業：家庭訪問：15件

○地域交流事業

・宇賀野福祉会運営推進会議への出席：1回      ・宇賀野清掃活動への参加：3回

・チャイルドハウス近江との交流会：4回      ・葉刈り（6/29）

・畑ボランティアの来所：31回                      ・園芸ボランティアの来所：3回

・出前講座：1回（世継サロン）                      ・ほおずき喫茶（毎月第2火曜日）

・ちょっと相談所の運営（毎月第3土曜日）

○福祉教育人材育成：米原中学校福祉体験

○貸館事業：1件

○運営推進会議：2回

○消防訓練：2回

実績(人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ利用者数	180	181	189	181	180	166	192	173	172	172	184	207	2,177
前年度	197	216	214	196	199	207	190	184	195	165	172	190	2,325

事業実績

事業実績



事業名		内 容												
事業計画	訪問介護事業	<p>○利用者宅を訪問し、身体介護や生活援助を行う。</p> <p>○専門的サービスが必要な要支援者等に、身体介護や生活援助を行うとともに、個々の状態を踏まえながら、多様なサービスの利用を促進していく。（※総合事業訪問介護）</p> <p>○重度要介護者の在宅生活の支援と家族介護者への支援の強化を目指し、医療やリハビリ等との連携を高める。</p> <p>○公的な制度やサービスでは応じることのできないニーズに対し、暮らしの安心を確保するためのサービスを提供する【重】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ふれあいよりそいサービス（制度外）」の見直しと拡充（通院等外出時の支援、服薬管理・安否確認のための見守り訪問、鍵の預かりなど）</li> <li>・要支援相当の方の地域生活を支えるため、活動者向けのプログラムを提供するなど、地域の人材育成に取り組む。</li> <li>・「生活支援サービス研修」の企画と実施</li> </ul> <p>○支援の充実を図るため、サービス提供体制の整備を行う。（中重度者ケアや同性介護への対応など）</p>												
	ヘルパーステーション山東伊吹	<p>○計画的な研修の受講（企画と実施） 外部研修の受講と復命研修、サービス提供責任者による内部研修の企画と実施</p>												
	ヘルパーステーション米原近江	<p>○制度外ヘルプサービスの企画、立案、実施</p> <p>○家族支援「ほっとちょこ訪問」、地域交流（出前講座・サロン）</p>												
事業実績	<p>○新規利用者 ・山東伊吹：37件 ・米原近江：22件</p> <p>○満足度調査の実施（2月）</p> <p>○家族支援「ほっとちょこ訪問」：9件</p> <p>○福祉教育人材育成：伊吹小学校福祉学習 学校訪問</p> <p>○地域交流 ・出前講座、サロンへの参加：5件 ・地域交流イベント：2件 ・男性クッキング：8件</p> <p>○職員研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘルパー全体研修「負担の少ない動作介助やポジショニング」</li> <li>・外部研修（ポジショニング、身体拘束、虐待防止、ターミナルケア、栄養と食事、排泄ケア介助セミナー、認知症、薬、感染症予防、口腔ケア、サービス提供責任者研修、認知症介護実践者研修）</li> <li>・内部研修（人権、法令遵守、接遇、プライバシー保護、食中毒予防、救命講習、感染症予防、技術）</li> </ul> <p>【サービス提供実績】 <span style="float: right;">（単位：時間）</span></p>													
	延べ派遣時間数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	山東伊吹	511	439.5	406	406.6	417.8	557.5	654.7	390	444.5	455	440	467	5,589.6
	米原近江	605.5	679.5	646.5	566.7	529	525.5	619	648	623.5	555	446	505.5	6,949.7
	合計	1,116.5	1,119	1,052.5	973.3	946.8	1,083	1,273.7	1,038	1,068	1,010	886	972.5	12,539.3
	前年度	1,537	1,238	1,514	1,319.5	1,282	1,169.5	1,215.5	1,140	1,158.5	1,146.5	1,121	1,215	15,056.5

事業名		内 容														
事業計画	小規模多機能型 居宅介護事業	○利用者が可能な限り自立した日常生活を送ることができるよう、利用者の様態や選択に応じ、「通い」を中心に「宿泊」や「訪問」を組み合わせ、家庭的な環境と交流のもとで、日常生活上の支援や機能訓練を実施する。														
	いをぎの家	○利用者が暮らす地域との連携を図りながら、住み慣れた地域や自宅での生活が継続できるよう、地域の福祉拠点としての機能を発揮し、様々な場面で自立に向けた支援と介護者への支援を行う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境改善と個別プログラム（役割づくりなど）の実施</li> <li>・相談機能の拡充（出張相談の実施など）</li> <li>・介護（予防）講座の開催</li> <li>・災害時における地域との協力体制の構築</li> </ul> ○支援の充実を図るため、サービス提供体制の整備を行う。 （看取りへの対応など）														
事業実績	<b>■定員：24人      ■実稼働日数：365日      ■月平均登録者数：17.5人</b> ○出前講座：3回（岩脇サロン、近江さくらが丘、顔戸サロン） ○岩脇自治会事業への参加：福祉運営会議、見守りネットワーク会議、自主防災訓練、除草作業、ふれあいサロン ○広報の発行（8月・10月） ○ちょっと相談所の運営（毎週月曜～土曜日）：相談件数2件 ○認知症カフェ：2回 参加者：約65人 ○福祉教育人材育成      ・米原中学校福祉体験      ・河南中学校福祉体験 ○運営推進会議：6回 ○消防訓練：2回															
	実績(人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	
	登録者数	17	17	17	19	19	19	19	18	17	17	15	16	210	181	
	延べ利用者	通い	219	254	251	268	289	257	286	269	261	248	240	269	3,111	2,500
		訪問	262	282	287	329	341	331	301	259	264	225	202	247	3,330	3,416
宿泊		15	22	23	22	25	19	30	39	24	24	22	22	287	176	
事業名		内 容														
事業計画	居宅介護支援事業	○要支援・要介護認定を受けた人からの相談を受け、居宅サービス計画（ケアプラン）を作成し、他の介護サービス事業者との連絡、調整等を行う。 ○介護・福祉、医療やその他の生活支援サービス、家族、地域の支えあい活動やボランティア活動等を総合的にマネジメントする。 ・ケアマネ通信等の発行による支え合いネットワークの必要性の啓発 ○相談支援者の連携を強化し、関係機関と地域のネットワーク化を図る。 ・絆バトンの普及啓発、災害時要援護者支援体制の構築 ○介護者 OB への訪問活動 介護を終えられた方が社会的に孤立しないよう訪問活動を行う。 <b>【事業所】</b> ケアプランセンター米原市社会福祉協議会														



事業実績	○介護者OBへの訪問活動：18件		○ケアマネ通信の発行：3回										
	○気づきの事例検討会：8回		○見守りネットワーク会議への出席：6件										
	○他法人との合同事例検討会：2回		○実務研修実習受け入れ：1人										
実績(件)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
給付管理	174	175	176	176	174	187	183	182	181	172	170	177	2,127
前年度	210	205	208	206	201	198	203	203	199	184	186	191	2,394

### (3) 介護予防事業

目 標	<p>高齢者が要介護状態となることの予防や要介護状態等の軽減・悪化の防止を目的に、生活機能の低下した高齢者に対し、「心身機能」「活動」「参加」のそれぞれの要素にバランスよく働きかけます。運動機能や栄養状態といった身体機能の改善だけでなく、日常生活の活動を高め、家庭や社会への参加を促し、ひとり一人の生きがいや自己実現につながるプログラムを実施します。</p>														
	事業名		内 容												
事業計画	日常生活支援 総合事業 (通所型サービスA)		<p>○機能訓練の他、社会参加・交流の機会を設けるなど、自立した日常生活の確保に向けたプログラムを実施する。</p> <p>【事業所】 西部デイサービスセンターきらめき デイサービスセンターゆめホール デイサービスセンター愛らんど</p>												
	事業実績	<p>○西部デイサービスセンターきらめき（週1回/火曜日） 新規利用者4人、終了者1人</p> <p>○デイサービスセンターゆめホール（週1回/木曜日） 新規利用者0人、終了者1人</p> <p>○デイサービスセンター愛らんど（週3回/月曜日・水曜日・金曜日） 新規利用者21人、終了者14人</p>													
延べ利用者(人)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度
きらめき		0	0	0	0	3	3	8	11	10	13	14	11	73	0
ゆめホール		4	5	4	4	4	4	0	0	0	0	0	0	25	34
愛らんど		56	52	65	62	89	82	98	107	103	98	88	104	1,004	594
事業計画	事業名		内 容												
	高齢者筋力向上 トレーニング事業 (楽トレ事業)		<p>○健康づくりと介護予防に向けた意識の高揚を図り、自主的かつ継続的な取組につながるよう支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・筋トレマシン講習会の開催（月1回/3会場）</li> <li>・筋トレマシンの地域開放</li> <li>・健康教室（健康づくり、介護予防に関する講座）と体力測定（日頃の取組の評価）の実施（年3回）</li> </ul> <p>【会場】 やすらぎハウス きらめきステーション 愛らんど</p>												

事業実績	○筋トレマシン自主トレーニング（地域開放）
	・やすらぎ：延べ 1,711 人                      ・きらめき：延べ 1,510 人
	・愛らんど：延べ 956 人
	○筋トレマシン講習会
	・やすらぎ：12 回 受講者：24 人      ・きらめき：12 回 受講者：22 人
・愛らんど：12 回 受講者：22 人	
○健康教室	
・「楽しく続ける介護予防！」（7/18、27）参加者 14 人	
・「H30 肉体改造～肩とウォーキング」（9/25、28）参加者 21 人	
・「ヨガにチャレンジして心も身体も元気になりませんか」（2/22、26）参加者 43 人	
○体力測定：3 回（健康教室と同日開催）参加者：延べ 44 人	

#### （４）障がい者福祉サービス

目 標	障がいのある人が、地域社会の一員として、地域で働き、暮らしていけるよう、関係機関と連携しながら、生活支援や就労支援に取り組みます。															
	サービス提供体制の見直し・強化に取り組み、支援内容の充実と質の向上を図るとともに、求められる支援ニーズに対し、新たなサービス開発に取り組みます。															
事業名		内 容														
事業計画	障がい者相談支援センター ほたる（一部米原市・長浜市委託事業）		○障がい者（児）とその家族の地域での生活を支援するため、福祉サービスの利用や各種制度の活用、生活上の相談支援を行う。 また、サービス等利用計画の作成や継続的な評価を行い、自立した日常生活・社会生活を営むことができるよう支援する。													
事業実績	○3月末の相談件数															
	・障がい児：15 件					・障がい者：157 件（内、計画作成 157 件）										
	実績(件)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	
	計画	40	17	6	13	5	5	10	13	19	7	9	21	165	139	
	モニタリング	6	13	19	7	9	20	29	23	7	13	13	1	160	163	
合計	46	30	25	20	14	25	39	36	26	20	22	22	325	302		

事業名		内 容												
事業計画	障がい者ホームヘルプサービス	<p>○障がいのある利用者宅を訪問し、身体介護や家事援助、乗降介助を行うほか、行動する際に生じる危険を回避するために必要な援護や外出時における移動の介護、その他生活全般にわたる援助を行う。 (居宅介護/重度訪問介護/行動援護/同行援護)</p> <p>○自立生活の支援を目的とした訪問・随時対応を実施する(※訪問介護事業における「ふれあいよりそいサービス(制度外)」の見直しの中で企画し、実施する。)<b>【重】</b></p> <p>○サービス提供における専門性を高め、支援の充実を図るため、サービス提供体制を整備し強化する(訪問介護事業所(介護)との分離、中重度者ケアや同性介護への対応など)</p>												
	支援センター山東伊吹 支援センター米原近江	<p>○計画的な研修の受講 スキルアップのための外部研修の受講と復命研修、サービス提供責任者による内部研修(全体研修)の企画と実施</p> <p>○制度外ヘルプサービスの企画、立案、実施</p> <p>○家族支援「ほっとちょこ訪問」、地域交流(サロン・出前講座)</p> <p>○移動支援・同性介護など支援充実のための職員体制の強化</p>												
事業実績	<p>○新規利用者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・米原近江 居宅：5人 行動援護：3人</li> <li>・山東伊吹 行動援護：1人</li> </ul> <p>○職員研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘルパー全体研修「家族から学ぶ障がい者支援」</li> <li>・外部研修(重度の肢体不自由者の動作介助、高次脳機能障害の理解、強度行動障害支援者研修&lt;基礎・応用&gt;、発達障がい者支援のための研修、精神保健医療福祉業務従事者研修、喫煙吸引等研修、身体拘束ゼロセミナー、虐待防止研修、福祉有償運送運転者講習)</li> </ul> <p>※内部研修は訪問介護事業と一体的に実施</p> <p><b>【サービス提供実績】</b> (単位：時間)</p>													
	のべ派遣時間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	山東伊吹	251.25	222.75	231	218.5	207	203	224.5	224.75	230.75	222.75	222	260	2718.25
	米原近江	424.6	417.8	417.3	388	389.25	406.25	447.5	436.75	406	403	419.25	441	4996.7
	合計	675.85	640.55	648.3	606.5	596.25	609.25	672	661.5	636.75	625.75	641.25	701	7714.95
	前年度	590.5	613.8	629.8	646.8	534	572.3	649	636.8	617	577.8	573	709.3	7350.1

事業名		内 容	
事業計画	就労継続支援 B型事業	○リサイクルショップや喫茶、駄菓子・花苗などの販売、企業内就労、下請け作業など就労の機会を提供するとともに、生産活動を通じてその知識と能力の向上に必要な訓練等を実施し、就労支援（定着支援含む）や社会参加を促進する。	
	ほおずき作業所	○就労移行の促進と定着に向けた支援を強化する。 ・施設外就労、施設外支援の促進（企業実習の機会の確保、家庭訪問等の就労定着サポートなど） ○ひとり一人の生活形態を考慮した移行支援を行う。 ・高齢障がい者などに対するサービス移行支援 ○個別支援の強化を図る。 ・作業環境の改善（視覚支援、個人スペースの確保など） ○サービス提供体制（事業規模、加算体制など）の整備とサービスの展開強化（定員、事業の多機能化・複合化、専門性の高度化など）に関する検討を行う。	
事業実績	○施設外就労の新規開拓：2社 ○発達障がいコンサルティングによる支援方法の指導：年6回 ○個別支援計画に基づいた支援の統一 検討会議：月2回 ○施設外就労（企業内作業）：329回/880人 ○移動販売の実施：110回 ○売上アップ委員会：毎月 ○ほおずき市（4/28）参加者：1,400人・参加団体：9団体 ○もったいない市（10/27）参加者：350人・参加団体：11団体 ○就業体験：長浜養護学校高等部 ○福祉教育人材育成：米原中学校福祉体験、大東中学校福祉体験 ○運営推進会議：2回 ○消防訓練：2回		
	実績		前年度
	開設日数	252日	258日
	実利用者数	26人	27人
	就職者数	2人	1人
	延べ利用者数	5,193人	5,655人
	施設外就労（企業内作業）	329回/880人	177回/623人
	リメイク教室	3回/40人	3回/32人
	音楽療法	3回/54人	3回/49人
	出前喫茶	11回/269人	7回/157人
	移動販売	110回	120回
	来客数	延べ 8,963人	延べ 10,021人
	ボランティア活動者数	延べ 92人	延べ 126人

事業名		内 容												
事業計画	地域生活支援事業	<p>○移動支援事業 障がいのある方の外出等の移動に関わる援助を行う。</p> <p>【事業所】 支援センター米原近江 支援センター山東伊吹</p> <p>○日中一時支援事業【重】 介護者の一時的な休息や就労支援のために、日中において障がいのある方の活動の場を確保する。</p> <p>【事業所】 支援センター米原近江 支援センター山東伊吹</p> <p>【サービス提供場所】 デイサービスセンター寄ろ家うかの 東部デイサービスセンターはびろ コーポラスきたがわ</p>												
		<p>○新規利用者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移動支援事業 米原近江：6件 山東伊吹：3件</li> <li>・日中一時支援事業 米原近江：1件 山東伊吹：1件</li> </ul>												
事業実績	移動支援事業													
	延べ時間数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	山東伊吹	22.5	31.5	36.5	37	31.5	32.5	41.5	33.5	37	33.5	29.5	35	401.5
	米原近江	63.5	78.5	65.5	70.5	73	66	87.5	90.5	66.5	87	84	90.5	923
	合計	86	110	102	107.5	104.5	98.5	129	124	103.5	120.5	113.5	125.5	1,324.5
	前年度	82.5	85.5	76.5	88.5	70	84.5	77.5	93.5	75	84	77	76	970.5
	日中一時支援事業													
	延べ時間数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	山東伊吹	0	0	0	0	0	0	0	0	8.25	17.5	16.25	6.75	48.75
	米原近江	0	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0	11
合計	0	0	0	0	0	0	0	11	8.25	17.5	16.25	6.75	59.75	

## (5) 子育て支援

目 標	親や家族、地域や関係機関が連携しながら、子どもの成長を促す様々な体験や交流・つながりづくりの場を創設するとともに、主体的な活動へ発展するよう支援します。	
	事業名	内 容
事業 計画	子育てサークル 育成・支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子育てサークル育成講座               <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援センター等関係機関との連携</li> </ul> </li> <li>○既存サークルの情報交換会</li> <li>○子育てサークルに関する情報発信</li> </ul>
事業 実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「こもち～ズ広場」6回 会場：西部デイサービスセンターきらめき テーマ：外あそびのスヌメ 参加者：8組 18人 子育てサークル「hughug」結成</li> <li>○子育て支援センター合同事業「いきいきフェスティバル」への参加・協力</li> <li>○子育てサークル支援：随時               <ul style="list-style-type: none"> <li>・社協広報「てとて」にて、4組のサークルを紹介</li> <li>・京都新聞「子育て仲間を応援」応援金申し込み支援（5サークル申し込み（内4サークルが対象））と事業報告書の作成支援</li> </ul> </li> </ul>	
	事業名	内 容
事業 計画	遊びの広場	○子育て中の親同士、子ども同士の交流および情報交換の場の提供（愛らんどキッズ、おもちゃであそぼ、親子ふれあい広場、子育てサロン）
事業 実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○伊吹地域：「愛らんどキッズ」 会場：愛らんど 開催：毎週土曜日 参加者：延べ661人</li> <li>○米原地域：「おもちゃであそぼ・おにぎりパーティー」 会場：ゆめホール 開催：毎月第2水曜日 参加者：延べ174人</li> <li>○近江地域：「親子ふれあい広場」 会場：やすらぎハウス 開催：毎週月曜日 参加者：延べ764人</li> </ul>	

## (6) 放課後児童クラブ

目 標	<p>子どもたちの思いをしっかりと受け止め、一人ひとりに応じた支援の充実を図り、保護者と支援員とが一緒になって、子どもたちが安全に安心して成長できる居場所づくりをすすめます。</p> <p>また、ボランティアをはじめとした地域住民との関わりを深めながら、児童の健全な育ちを促します。さらに、市内の他のクラブとも連携し、共に研修・研鑽を重ね、全体の質の向上をめざします。</p>
--------	--

事業名		内 容												
事業計画	放課後児童クラブ (市委託事業)	○地域住民、ボランティア、各種団体と協働する事業の企画と実施 ○保護者会との連携強化 ・連絡会議の開催、協働事業の実施 ○行政と連携した研修 【事業所】 げんきッズ坂田 A・B      げんきッズ息長 A・B												
		○地域住民、ボランティア、各種団体等との交流事業の実施 ・ボランティアとの交流（7/25、8/3～6）      ・宇賀野園芸ボランティアとの交流（随時） ・囲碁ボランティアとの交流（8/8、23）      ・湖北みみの里との交流（8/13、12/26） ・行こ家のとせ秋祭りへの参加（10/13）      ・お茶会の開催（3/27、28） ○社会学習の実施：避難訓練（7/26、27） ○個別支援計画の作成 ○保護者会活動支援 ・環境整備活動（8/25）      ・保護者会総会（3/5）      ・保護者会アンケート作成支援												
事業実績	げんきッズ坂田 A・B													
	実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	開設日数	20	21	21	21	20	18	22	21	19	19	19	20	241
	実利用者数 (A)	29	19	17	17	34	17	17	15	18	15	15	26	239
	実利用者数 (B)	38	21	20	21	33	22	21	21	25	20	20	31	293
	延べ利用者数 (A)	341	339	298	289	559	239	308	272	233	206	223	293	3,600
	延べ利用者数 (B)	401	358	342	347	664	300	392	357	315	282	306	351	4,415
	前年度延べ利用者数	1,027	714	700	1,070	1,181	625	627	564	596	451	552	680	8,787
	げんきッズ息長 A・B													
	実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	開設日数	20	21	21	21	20	18	22	21	19	19	19	20	241
	実利用者数 (A)	27	16	16	15	39	14	14	14	23	14	14	26	232
	利用実人員 (B)	27	19	20	19	38	18	18	18	21	18	18	21	255
	延べ利用者数 (A)	293	275	279	238	754	205	273	258	265	219	218	271	3,548
	延べ利用者数 (B)	317	328	322	329	526	235	325	307	276	245	275	279	3,764
前年度延べ利用者数	645	589	656	723	819	584	555	506	470	441	453	513	6,954	

## (7) ファミリー・サポート・センター

目 標	子育てにおける相互援助活動を支援し、市民が安心して仕事と育児を両立できるまちをめざします。	
事業計画	事業名 ファミリー・サポート・センター事業 (市委託事業)	内 容 ○サポート会員と利用会員とによる相互援助活動（子どもの預かりおよび送迎等）の推進 ・事業活動の広報、啓発 ・会員相互の援助活動の相談、調整、助言 ・会員の募集、登録および管理 ・サポート会員に対する研修の実施 ・安全対策の確保（マニュアル等の活用） ・子育て支援機関等との連絡調整 ・子育て支援団体等との協働による事業周知・登録促進・交流イベントの実施
事業実績	<p>○登録者数 合計：164人          ・利用会員：78人 ・サポート会員：73人 ・両方会員：13人</p> <p>○利用実績（会員同士による相互援助活動）：304回</p> <p>○相談援助件数：217件</p> <p>○イベント実施のための協力調整等：171件</p> <p>○広報活動          ・伊吹山テレビにて、特集を放送          ・広報まいばら7月号にて特集記事を掲載          ・社会福祉大会でのブース設置：概要の説明と登録者の新規募集</p> <p>○普通救急救命講習Ⅲ（主に小児・乳児・新生児対象） 参加者：35人</p> <p>○ファミリー・サポート・センター交流会「まいはぐ」          ・（8/10）参加者：親子23組67人、運営ボランティア：11人          ・（12/15）参加者：親子21組42人</p> <p>○子育てサポーター養成講座の実施          ・「子どもの世話」「小児看護の基礎知識」「保育のこころ」について 受講者：9人          ・「障がいのある子の預かり」「子どもの遊び」「子どもの栄養と食生活」受講者：11人</p>	





事業名		内 容
事業計画	家計相談支援事業 (市委託事業)	○債権整理や家計に関する相談助言・支援、貸付のあっせん等を行う。
事業実績	<p>○新規相談者：17人                      ○プラン作成者：13人</p> <p>○評価作成者：6人</p> <p>○相談（支援）対応者：104人</p> <p>○相談支援回数：532回</p> <p>プランに基づき各種支援を行うとともに、プラン終結後も必要に応じフォローアップを行い、状況を確認した。プラン作成に至らなかったケースも、自立相談支援事業との連携のもと支援にあたった。</p>	
事業名		内 容
事業計画	就労訓練事業	<p>○居場所の提供 居場所への参加を通じて生活習慣を整える支援を行う。</p> <p>○自立生活訓練 コミュニケーション力などの社会参加のスキル、日常生活を送るための社会生活スキルの向上を支援する。</p> <p>○中間就労（就労訓練事業） 一般就労になじめない方への支援を行う。</p>
事業実績	○利用者なし	
事業名		内 容
事業計画	【重】 子ども食堂 ・ 学習支援	<p>○福祉教育連絡会議等で、ニーズの把握や連携を深める。</p> <p>○食事を通じて地域ぐるみで子どもを見守り育てていく「子ども食堂」等、地域の活動を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動費補助</li> <li>・情報交換会の開催</li> </ul> <p>○学習の機会が十分でない子どもに対して、学習の場を提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内福祉施設等を活用し、サポーターによる学習指導を行う。</li> <li>・社会交流の場として食事会等を実施する。</li> </ul>
事業実績	<p>○子ども食堂活動支援：8団体</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わかか子ども食堂（米原）                      ・湖北子ども食堂「Liaison(リゾリ）」（長沢）</li> <li>・おおのぎ子ども食堂（大野木）              ・かしわばら子ども食堂（柏原）</li> <li>・KIDS レストラン 虹（三吉）                  ・おそと食堂あじっごはん（大野木）</li> <li>・子ども食堂ひよっこ（飯）                      ・ばんばじゅく（東番場）</li> </ul> <p>○子ども食堂実施団体の交流会（2/20）参加：7団体 市内団体での居場所づくりネットワーク構築に向けた取り組みを行った。</p> <p>○「ほたる一む」（夏休み特別版）対象者：双葉中学校生徒 4回 参加者2人 （冬休み特別版）対象者：双葉中学校生徒 4回 参加者2人</p>	

事業名		内 容
事業計画	要援護世帯等向け歳末配分事業	○歳末たすけあい運動における個別配分事業 対象者：ひとり暮らし高齢者・身体障がい児者 知的障がい児者・精神障がい者 ひとり親世帯・低所得者世帯
事業実績	○民生委員と協力して実施した。 配分合計：1,032 件（昨年比 40 件増） （内訳）・一人暮らし高齢者：522 件      ・身体障がい児者：141 件 ・知的障がい児者：114 件      ・精神障がい児者：55 件 ・ひとり親世帯：137 件      ・低所得者世帯：63 件	
事業名		内 容
事業計画	生活困窮者物資提供事業（フードバンク）	○制度やサービスを利用するまでの期間や、制度やサービスでは対応できないなどの理由で、生活に困窮している人を対象に、地域で不要になったものを集めるとともに善意銀行の活用により、必要な物資を確保し提供することで地域での生活を支援する。
事業実績	○物資寄付件数：18 件 ○善意銀行からの物資調達：30,286 円 ○支援回数    個人：29 人    延べ 44 回 法人：12 法人    延べ 36 回	

### （9）生活福祉資金貸付制度・一時援護資金貸付事業

目 標	低所得者や高齢者・障がいのある人等に対し、継続的な相談援助と資金の貸し付けやその他の制度の活用等を通じて、生活の維持・安定、経済的自立に向けた支援を行います。	
事業名		内 容
事業計画	生活福祉資金貸付制度（県社協委託・補助）	○民生委員等との連携による相談援助と資金貸付 ・総合支援資金、福祉資金、教育支援資金、不動産担保型生活資金の貸付 ○生活困窮者自立支援事業との連携
事業実績	○貸付件数：4 件（内 1 件は H31 年度に決定） 他、決定保留 1 件 ○相談支援回数：203 回 新規貸付相談の他、借受人等の状況確認や支援・手続き等を行った。	
事業名		内 容
事業計画	一時援護資金貸付事業	○民生委員等との連携による相談援助と資金貸付 ○生活困窮者自立支援事業との連携
事業実績	○貸付件数：43 件 ○相談支援回数：260 回 新規貸付相談の他、借受人等の状況確認や支援（相談）を行った。	

(10) その他の生活支援

目 標	既存の制度やサービスでは支えきれない生活ニーズに対し、新たなサービスを企画・実施し、支援を必要とする人の生きがいを高め、日常の生活を支援します。	
	事業名	内 容
事業計画	外出支援 サービス事業 (市委託事業)	○公共の交通機関が利用できない人を対象に、リフト付き車両（福祉車両）を使用し、医療機関等への送迎を行う。
事業実績	○高 齢：334 件（前年度 348 件） ○障がい：114 件（前年度 156 件）	
	事業名	内 容
事業計画	高齢者生きがい バス運行業務 (市委託事業)	○高齢者の生きがいづくりのために開催される講座やふれあい交流事業等福祉活動の実施に伴う送迎を行う。
事業実績	○地域の福祉活動や団体活動に活用された。 利用件数：延べ 103 件 1,869 人 ※サロン活動：73 件 1,366 人 ※生きがい講座：30 件 503 人	
	業名	内 容
事業計画	緊急時預かり サービス	○緊急の事由により見守りや介護等ができない状態が生じた場合の預かりを実施し、暮らしの安心を確保する（24 時間/365 日対応） ・なじみ安心事業（市補助事業） ・宿泊サービス ・緊急預かりサービス
事業実績	○なじみの安心事業：1 件（うかの） ○宿泊サービス：1 件（きらめき） ○緊急預かりサービス：3 件（うかの）	
	事業名	内 容
事業計画	ふれあいよりそい サービス	○既存の制度やサービスで対応できない生活上のニーズに対する制度外サービスを提供する。 ・通院等外出時の支援 ・服薬確認や安否確認のための見守り訪問、障がい者の自立生活支援を目的とした訪問（定期/随時） ・鍵の預かり、など ※現行サービス（内容/料金など）の見直しと拡充を図る。
事業実績	○実績なし。 ○現行サービスの見直し検討	

事業名		内 容
事業計画	【重】 地域生活応援事業	○障がい者等の地域で自立した生活に向けた活動の場が求められている中で、支援ニーズを集約し、食事・買い物・洗濯・掃除・入浴・宿泊などの生活体験、訓練の場を提供する。
事業実績	<p>法人内横断プロジェクト事業として、課を超えた8名のメンバーで検討、実施した。</p> <p>○プロジェクト会議：9回</p> <p>○すこやかウォーキング（7/15）参加者：14人 実施場所：上丹生～醒井養鱒場</p> <p>○農作業体験事業：（9/2～ 不定期・日曜日）参加者：約5人</p> <p>    収穫物の販売：きらめき祭り：参加者3人</p> <p>                    てんてんフェスティバル：参加者1人</p> <p>                    鍋パーティー 参加者：3人</p> <p>○あかり食堂（調理実習）（12/16）参加者：16人</p> <p>○女子会：4回 参加者：6人</p> <p>○男子会：2回 参加者：3人</p>	
事業名		内 容
事業計画	福祉機器 貸出事業	○福祉機器（車椅子）の貸出 ・利用者の心身機能の維持向上と生活支援、介護者の介護負担の軽減
事業実績	福祉機器（車椅子）貸出：27件	

## 5. 災害に強いまちづくり活動

### (1) 災害支援体制の構築

目 標	<p>災害時の支援活動について協議する場を設定し、それぞれが果たす役割の整理や情報の共有を行います。</p> <p>また、関係機関、福祉事業者等と協働し、地域防災計画に基づく個別避難支援計画の作成に向けた地域の取り組みを支援します。</p> <p>さらに、各事業所が、災害時の利用者の安否やサービス連携について確認し、被災状況に応じたサービスを速やかに提供できる体制を整備します。</p>	
	事業名	内 容
事業 計画	災害時支援の 連携構築	<p>○福祉事業者との災害対策に関する協議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域と事業者との連携および支援調整</li> <li>・利用者の安否確認やサービス連携</li> <li>・被災状況に応じたサービスの提供方法、サービス再開</li> </ul> <p>○サービス事業所ごとの災害時対応マニュアルの作成</p> <p>○地域における個別避難支援計画の作成支援</p>
事業 実績	<p>スキルアップ講座の開催や福祉懇談会、見守りネットワーク会議、支援体制構築会議への出席を通じて、支援体制づくりの必要性やその進め方について、進捗状況に応じた情報提供や提案を行うことで、災害時支援の連携構築の推進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援体制づくりに取り組まれた自治会：18自治会 山東：3自治会 伊吹：7自治会 米原：3自治会 近江：5自治会</li> <li>・避難行動要支援者名簿整備に取り組まれた自治会：14自治会 山東：2自治会 伊吹：6自治会 米原：3自治会 近江：3自治会</li> </ul>	

### (2) 災害ボランティアセンターの設置運営

目 標	<p>被災者が抱える問題と活動ニーズとが的確に調整され、災害時に必要となる新たなボランティア活動の創設や地域との連携など、円滑な運営のための人材の養成と体制の整備を行います。</p>	
	事業名	内 容
事業 計画	災害ボランティア センターの設置運営	<p>○設置・運営訓練の実施とマニュアルの見直し・点検</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民、関係機関、事業所が参加する訓練（課題の集約と検証）</li> </ul> <p>○雪害時の対応に関する訓練の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業周知とボランティアの募集</li> <li>・対象地域の状況把握・活動調整</li> <li>・市や県災害ボランティアセンターとの連絡連携</li> </ul> <p>○運営サポーター募集の案内</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出前講座や社会福祉大会等において実施</li> </ul> <p>○運営サポーターミーティング</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域啓発、サポーター研修、訓練等</li> </ul>

事業実績	<p>○6月29日米原市竜巻災害における災害ボランティアニーズ把握活動</p> <p>○災害ボランティアセンター運営サポーター参加型出前講座による災害ボランティアセンターの周知啓発活動：1自治会、1団体</p> <p>○災害ボランティアセンター初動訓練（10/14）参加者：13人</p> <p>○除雪ボランティア活動体験のための懇談会：4自治会 参加者：3人</p> <p>○除雪ボランティア活動体験（2/23）参加者：16人</p> <p>○災害ボランティアセンター運営サポーターミーティング（2/23）参加者：7人</p> <p>○災害ボランティアセンター運営サポーター出前講座：1団体</p> <p>○災害ボランティアセンター運営サポーター登録者：3人</p> <p>○除雪ボランティア登録者：3人</p>
------	---

### （3）福祉避難所の運営体制整備

目 標	<p>災害時に福祉避難所が円滑に運営できるよう、マニュアルの整備や備品等の準備、関係機関との情報共有、運営訓練を行います。</p> <p>要配慮者の生活面や健康面、衛生面など避難所生活が安心して過ごせるよう要配慮者や関係機関が話し合える場づくりを行います。</p>	
	事業名	内 容
事業計画	福祉避難所 運営体制整備	<p>○各福祉避難所に応じた運営マニュアルの整備</p> <p>○福祉避難所運営に関する研修会の開催</p> <p>○要配慮者（当事者）を交えた意見交換会の実施</p> <p>○指定福祉避難所間での情報交換会の開催</p>
事業実績	<p>○福祉避難所に必要な備品管理についての意見交換 やすらぎハウス運営推進会議（5/18、9/7）</p> <p>○社会福祉大会における避難所体験ブースの設置（12/2）</p>	





事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給与規程の改正（正規職員、准正規職員、パートタイマー職員）</li> <li>・通勤手当に関する細則の改正</li> <li>・各デイサービスセンター宿泊サービス運営規程等の改正</li> <li>・平成 31 年度事業計画      ・平成 31 年度予算</li> <li>・平成 31 年度第 1 回評議員会の招集</li> </ul> <p>○理事委員会の開催：2 回（7/31、1/28）</p> <p>○評議員選任・解任委員会：2 回（6/8、7/13）</p> <p>○評議員・役員研修：新任評議員研修：1 回      役員研修：2 回</p>
------	--

## （2）情報公開と監査機能の充実

目 標	<p>法人情報等を広く市民に公開し、社会福祉協議会の透明性と公共性を確保します。</p> <p>また、事業や予算執行の監査、執行機能の評価を行うとともに、内部チェックを実施し、事業の公正性を保ちます。また、事業利用者の利害関係についての適正化に対する監査を実施します。</p>
事業計画	<p>○法人情報・財務諸表の事務所での備え置きに加えインターネットでの公開</p> <p>○内部チェックの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・監事による事業・会計監査（年 2 回）</li> <li>・法人後見事業に関する運営監視</li> </ul> <p>○会計・労務等に関する専門機関によるチェックと指導（通年）</p> <p>○福祉サービスに関する苦情解決事業</p> <p>苦情相談委員会（第三者委員会）による対応結果の確認（年 2 回）</p>
事業実績	<p>○ホームページにおいて法人情報・財務情報・定款他規程集を公開</p> <p>○監事による監査（2 回）</p> <p>○内部チェック</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・権利擁護事業利用者の預り物チェック(9/21)</li> </ul> <p>○会計・労務等に対する外部チェックの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上西会計事務所による会計指導等の実施（決算他随時）</li> </ul> <p>○福祉サービス苦情解決事業</p> <p>苦情相談委員会（2 回）：苦情内容の報告・意見交換</p>

## （3）会員・会費制度の普及促進

目 標	<p>地域福祉の推進を図るため、市民や事業所、企業等に対し、社会福祉協議会への参加協力を求めるほか、法人運営に参加するための制度化を進めます。</p>
事業計画	<p>○啓発資料（パンフレット等）を活用した普及啓発活動</p>
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会を通じ、各世帯へチラシ配布し、普通会员の加入を呼びかけた。</li> <li>・理事・職員により、市内の企業・事業所を訪問し、特別会員への加入を依頼：340 件</li> </ul>

#### (4) 財政の健全化

目 標	<p>補助金・委託金・会費・共同募金・寄付金等の充実を図り、財源の確保に努めます。さらに、財源・資金活用のルール化を進め、財源充当の明確化と適正化に取り組みます。</p> <p>また、介護・福祉事業を実施することで生じた収益を、新たな地域福祉事業開発のための資金として活用していきます。</p>
事業 計画	<p>○善意銀行の有効活用</p> <p>○行政担当部署との連携（地域福祉推進に向けた事業・予算要望）</p> <p>○事業収益の1%を目標とした地域貢献活動への資金活用【重】</p>
事業 実績	<p>○行政担当部署との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・米原市健康福祉部との意見交換会（5/11）</li> <li>・米原市議会健康福祉常任委員会との懇談会（6/29）</li> <li>・米原市へのH31年度予算に向けての要望書の提出（6/26）</li> <li>・共同募金支援型自動販売機設置募集チラシを特別会員の募集に合わせて配布</li> <li>・介護、福祉サービスの収益を財源としたH31年度事業の企画</li> </ul> <p>○事業収益の1%を活用した地域貢献活動への資金活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者筋力向上トレーニング事業（楽トレ事業）※詳細は23頁に記載</li> <li>・地域生活支援事業 ※詳細は27頁に記載</li> <li>・生活困窮者自立支援事業利用者の居場所・軽作業利用のための交通費を負担 ※詳細は31頁に記載</li> </ul>

#### (5) 各種積立金の適正化

目 標	<p>事業の安定的運営や地域福祉事業の開発を促進するため、目的別の目標額を定め、安定的な経営に向けた積み立てを行います。</p>
事業 計画	<p>○事業運営積立金                      ○施設整備費積立金</p> <p>○車両購入積立金                      ○事業開発積立金</p>
事業 実績	<p>○積立の取崩：事業運営積立金 3,154,000 円、車両整備積立金 10,803,000 円</p> <p>○各積立金への積立額</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業運営積立金：1,930,800 円      (合計額：67,333,800 円)</li> <li>・施設整備費積立金：－              (合計額：45,700,000 円)</li> <li>・車両購入積立金：6,524,600 円      (合計額：12,879,600 円)</li> <li>・事業開発積立金：－                  (合計額：20,000,000 円)</li> </ul>

## (6) 人材育成と活用【重】

目 標	<p>キャリアパス・研修制度を充実し、専門職としての資質向上に努めます。職員自らが、求められる資質を確認するための評価基準を定め、職員の働きがいと専門性を高めます。</p>
事業計画	<p>○研修制度の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・階層別研修カリキュラムに基づく研修計画の作成と実施</li> <li>・新任職員育成プログラムの検討</li> </ul> <p>○評価制度の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務目標管理制度の推進</li> <li>・職務表の見直し</li> <li>・評価制度の検討</li> </ul>
事業実績	<p>○処遇制度の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職責や専門性に応じた給与体系の見直しと働きやすい環境づくり (給与・各種手当・昇格昇給基準・職務表・休暇制度・復職制度 など)</li> </ul> <p>○各研修課程による職員研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新任研修：7回 24人</li> <li>・定期研修：職員全体研修(4/6)、接遇研修※(7/26)、人権研修(4/6、11/20※) 社会福祉大会(12/2)、普通救命講習※(10/10・12・15) ※印は他事業所へ公開</li> <li>・職場内研究活動の実施：19グループ 全体報告会(2/22)</li> <li>・滋賀県社会福祉学会へ参加(2/22)：西部デイサービスセンター「なぜ?を考える認知症ケア」</li> </ul> <p>○評価制度に関する取組</p> <p>人事制度の見直しの方向性を確認し、職能基準を定めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務目標管理：正規職員対象に各課・部署ごとに実施</li> </ul> <p>○処遇制度の見直し</p> <p>職員の働きやすい環境づくりに向けて新規制度を導入した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・採用後6か月以内の職員向け特別有給休暇制度</li> <li>・時間単位年次有給休暇取得制度</li> <li>・短時間正規職員・短時間准正規職員制度</li> <li>・准正規職員・パート職員の定年の延長</li> <li>・放課後児童クラブパート職員(有資格者)の時給見直し</li> </ul> <p>○職員の安全衛生：衛生委員会(6回)、健康診断、ストレスチェック、安全運転チェック</p> <p>○事業推進プロジェクト会議</p> <p>法人内の各部門(部署)を横断するプロジェクトチームによる新規事業等の検討と実践</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活支援事業の企画と展開について(※「食」を通じた安心見守り)</li> <li>・障がい児者地域生活応援事業の実践について</li> <li>・施設の有効活用について</li> </ul>

## 7. その他の活動

### 1. 関係機関との連携・提言活動

- ・米原市健康福祉部、子ども未来部との意見交換会（5/11）
- ・米原市議会健康福祉常任委員会との意見交換会（6/29）
- ・市内福祉サービス事業所訪問：39 事業所

### 2. 表彰・感謝

米原市社会福祉大会の式典において、社会福祉の発展向上に貢献された方や団体を表彰し、感謝の意を伝えた。

- ・表彰：社会福祉活動が特に優秀な個人・団体等  
【個人】6人 【団体】7団体
- ・感謝：善意銀行への高額寄付や特別会費による貢献顕著な協力者  
【個人】2人 【団体】3団体

### 3. 日本赤十字社事務局・赤十字奉仕団支援

日本赤十字社滋賀県支部米原市地区事務局として、事務執行と災害等における救援物資の手配や赤十字奉仕団の活動の側面的な支援を行った。

- ・社資の募集：合計 6,387,782 円（法人社資：147 件 621,500 円含む）
- ・赤十字奉仕団地区委員会：9回
- ・米原市地区赤十字奉仕団一日研修会（10/20）参加者：100人

### 4. 義援金の募集

共同募金会・日本赤十字社が実施する国内外で発生した災害被災者を支援する義援金を募集した。 ※平成 30 年度受付額

- ・米原市竜巻災害義援金：6,753,635 円
- ・平成 30 年 7 月豪雨災害義援金：563,766 円
- ・平成 28 年熊本地震義援金：23,059 円
- ・東日本大地震災害義援金：7,040 円
- ・平成 29 年 7 月 5 日からの大雨災害義援金：4,272 円
- ・平成 30 年北海道胆振東部地震災害義援金：15,071 円
- ・平成 30 年大阪府北部地震災害義援金：50,680 円

### 5. 関係機関への参画

- |                             |                              |
|-----------------------------|------------------------------|
| ○滋賀県社会福祉協議会監事               | ○滋賀県共同募金会理事                  |
| ○滋賀の縁創造実践センター推進員            | ○滋賀の縁創造実践センターリーディングプロジェクト企画員 |
| ○滋賀の縁創造実践センター小委員会委員         | ○米原市防災会議委員                   |
| ○権利擁護委員会・権利擁護システム構築に関する部会委員 | ○滋賀県社協職員連絡会役員                |
| ○米原市都市計画審議会委員               | ○米原市介護保険運営協議会委員              |
| ○社会を明るくする運動米原市地区実施委員会       | ○米原市民生委員児童委員推薦会委員            |
| ○米原市子ども若者支援協議会委員            | ○米原市国民健康保険運営協議会委員            |
| ○米原市子ども・子育て審議会委員            | ○米原市健康づくり・食育推進協議会委員          |

- 米原市福祉有償運送運営協議会委員
- 米原市地域包括支援センター運営協議会
- 米原市空家等対策協議会委員
- 米原市人権総合センター運営協議会委員
- 米原市人権尊重のまちづくり審議会
- 米原市行財政改革市民委員
- 米原市主任介護支援専門員連絡会委員
- 市ケアプラン評価検討モデル事業（ケアプラン会議）委員
- 米原市環境保全に伴う旅館等建築審査会委員
- 米原市人権教育推進協議会 人権擁護活動部会員
- 湖北地域しょうがい者相談センター第三者委員（ほっと）
- 長浜・米原地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会
- ながまいネット委員
- 湖北会苦情解決の第三者委員
- いきいきおうみみんなの家運営推進会議
- 社会福祉法人あつぷで〜と評議員
- 男女共同審議会委員
- 米原市いじめ問題対策連絡協議会
- 米原安全運転管理者協会理事
- 息郷地域総合センター三吉会館運営協議会委員
- 米原市地域公共交通会議委員
- 米原市スポーツ推進審議会委員
- 湖北介護支援専門員連絡協議会理事
- 米原市高齢者・障がい者虐待防止ネットワーク会議委員
- 米原の原子力防災を考える市民委員会委員
- 米原市青少年育成市民会議山東・伊吹・米原・近江支部評議員
- 長浜米原しょうがい者自立支援協議会事務局会議
- 長浜自立支援協議会運営委員、権利擁護委員
- ルッチまちづくり大学運営会議委員
- ひだまり運営推進委員（縁ひだまり・ほっとひだまり）
- 近江薫風会評議員選任・解任委員会委員
- 平成 30 年度米原市竜巻災害義援金募集・配分委員